

全国の黒住教教師とお道づれの皆様に申し上げます。

私は第七代教主就任に際して「告諭」を發布し、「まることの世界」の実現を目指すことを教団内外に対して宣言させていただきました。そして、告諭の精神を次の祈りの詞に集約し、その「心構え」と具体的な実行例を添えて、改めてご理解いただきたくお示しします。

いのちたてまつる  
奉 祈 人皆の 心の神の 御開運

天照らす 神の御徳を 取り次ごう

互いの誠を 活かし合つて

### 〈心構え〉

私たち黒住教お道づれば、「活かし合つて取り次ごう！」を合言葉に、全ての人々の「元気」を喚起して、世の中が和やかに共に栄える「まることの世界」の実現を目指します。とりわけ、病み悩み苦しむ人のために「祈りと奉仕の誠」を尽くし、教祖宗忠神のお守りとお導きを信じて自らの信仰心を養い、御教えの励行を心掛けます。そして、共に「まることの世界」の実現を目指す「まることの人づくり」につとめます。

### 〈御日拝の推進〉

霊地大元からご遷座して半世紀の歳月を重ねる「お日の出の郷<sup>さと</sup>神道山」での御日拝を、一人でも多くの方と分かち合います。二百年以上にわたって一日も欠かさず行われてきた「お日待ち」の御日拝を通じて、世界大和と万民和楽を祈り続けている黒住教に誇りを持ち、神道山はもとよりそれぞれの場所から、毎朝の御光に向かつて感謝の祈りを捧げ、その行為を次世代の方へも伝えてください。『GO！日拝！』

### 〈「有り難い！」を、もっと身近に〉

告諭で呼び掛けさせていただいている取り組みを推進するために、自らの「ありがとうなる心」を育て、自分以外の人や社会のために行動できる人々が増えることを願っています。一人でも多くの方に「日の御蔭」という「おかげ」を実感していただき、「有り難い！」という歓喜・感激・感謝の心で、自分のできることや得意なことを実践してください。そのことによつて、「ありがとう」の心がさらに世の中に満ち溢れると信じています。

次なる節目は、令和十二年の「教祖神ご降誕二百五十年」です。皆様方が、心身ともにお元気で開運の道を歩み続けられることをお祈り申し上げます。